

2019年春季講演会 講演プログラム
2019 Annual Spring Meeting Program

6月3日(月) June 3(Mon.)

時間(Time)	表題(Tittle)	○講演者(Presenter) 著者(Authors)
【第1会場(Room 1)】		
9:20 ~ 10:20	一般講演GS1・海洋波・シミュレーション 司会: 箕浦宗彦(阪大) GS1・Ocean wave・Simulation Chair: Munehiko MINOURA	
9:20 ~ 9:40	大洋を航行する船舶に搭載されたAI(人工知能)による出会波の予測可能性について	○影本 浩
9:40 ~ 10:00	A spatio-temporal statistical model to simulate long-term wave environments along ship routes	○Wengang Mao, Naoki Osawa, Shengzheng Wang, Di Zhang
10:00 ~ 10:20	The time domain simulations of the improved HLIGN model for steep, broadband deep-water ocean waves	Wenyang Duan, ○Kun Zheng, Binbin Zhao
10:40 ~ 11:40	一般講演GS2・海洋波・シミュレーション 司会: 影本 浩(長崎総科大) GS2・Ocean wave・Simulation Chair: Hiroshi KAGEMOTO	
10:40 ~ 11:00	大型コンテナ船の船体応答実船計測に基づく海象推定に関する研究ー機械学習を用いた方向波スペクトル推定の有効性の検討ー	○河合俊希, 王七音, 川村恭己, 岡田哲男, 満行泰河, 陳曦
11:00 ~ 11:20	Single-phaseとTwo-phaseによるストークス波の碎波シミュレーション	○池之上晴視, 日野孝則, 高木洋平
11:20 ~ 11:40	ベッセル関数を基底とした実海域波浪場の再現法に関する研究	奥山 悦郎, ○箕浦 宗彦
13:00 ~ 14:00	定時総会	
14:00 ~ 14:30	表彰式	
14:50 ~ 15:30	論文賞受賞記念講演	
15:30 ~ 16:00	特別講演 船舶海洋人材育成の課題と長崎地域における活動例	長崎大学大学院工学研究科 船舶海洋人材育成講座 教授 橋本州史
16:00 ~ 17:00	一般講演GS3・海洋エネルギー 司会: 今井康貴(佐大) GS3・Ocean energy Chair: Yasutaka IMAI	
16:00 ~ 16:20	ゼロエミッション帆船の概念設計	○大内一之
16:20 ~ 16:40	乱流中の浮遊式海流発電装置の制御	加納大義, ○高木健, 佐藤淳之
16:40 ~ 17:00	振動水柱型波力発電装置の空気室特性に与える縮尺影響に関する基礎的研究	木原禎之, 居駒知樹, ○平井翔太, 惠藤浩朗, 増田光一, 相田康洋
17:00 ~ 18:00	一般講演GS4・海洋エネルギー・シミュレーション 司会: 居駒知樹(日大) GS4・Ocean energy・Simulation Chair: Ken Takagi	
17:00 ~ 17:20	加振された半没水円筒に作用する流体力に関する数値的研究	徐瀟俊, ○平林紳一郎, Rodolfo T. Goncalves, 鈴木英之

17:20	～	17:40	数値シミュレーションによる浮遊軸型潮流発電機の性能評価	○梅本 宙輝, 千賀 英敬, 秋元 博路
17:40	～	18:00	振り子型波力発電装置の油圧動力変換シミュレーション	○今井康貴, 永田修一, 村上天元, 石田茂資, 井上竜太朗

【第2会場(Room 2)】

9:00	～	10:20	一般講演GS5・建造 司会: 濱田邦裕(広大) GS5・Construction Chair: Kunihiro HAMADA	
9:00	～	9:20	Meta Data for Container Terminal Resource Management Evaluation a Big Data Approach	○Tiago Novaes Mathias, Takeshi Shinoda, Hideyo Inutsuka
9:20	～	9:40	造船工程計画問題のRCPSPP定式化とOptSeqによる解法	○梶原宏之
9:40	～	10:00	ぎょう鉄加熱指示のための曲がり外板曲率評価の手法に関する研究	稗方和夫, 満行泰河, ○笠原達也
10:00	～	10:20	TOC思考による企業戦略立案のための支援方法に関する研究	○土井裕文, 篠田岳思, 金城周三
10:40	～	12:20	一般講演GS6・建造・深層学習 司会: 木村 元(九大) GS6・Construction・Deep learning Chair: Hajime KIMURA	
10:40	～	11:00	造船工場の見える化を高度化するための画像解析における深層学習の活用	○青山和浩, 入江政行, 竹中良太, 大泉和也
11:00	～	11:20	ディープラーニングを利用した造船作業者の作業分類法に関する研究	○平田法隆, 濱田邦裕, 乾惠輔
11:20	～	11:40	ディープニューラルネットワークを適用した造船所の作業情報の抽出法に関する研究	○田中 太氏, 篠田 岳思, 岡本 颯斗
11:40	～	12:00	機械学習を用いた検査前における不適合品の予測	○小沢匠, 間島隆博, 平方勝, 馬沖
12:00	～	12:20	Comparative Study on the Real Time Object Detection System for Edge-computing	○Chong Ma, Yasuhira Yamada
16:00	～	16:40	一般講演GS7・溶接・工作 司会: 田中太氏(九大) GS7・Welding・Construction Chair: Takashi TANAKA	
16:00	～	16:20	溶接ビード品質の画像判定における機械学習の適用	○竹中良太, 青山和浩, 大泉和也
16:20	～	16:40	機械学習による溶接外観の自動検査技術の構築に向けた基礎検討	森平尚樹, ○渡邊 範弘, 後藤 浩二
16:40	～	18:00	一般講演GS8・溶接・工作 司会: 青山和浩(東大) GS8・Welding・Construction Chair: Kazuhiro AOYAMA	
16:40	～	17:00	レーザ・アークハイブリッド溶接技術の一般商船建造工程への導入に向けた研究ー(その1)片側完全溶込みT継手の施工条件導出と継手性能評価ー	後藤 浩二, ○津村 秀一, 岩田 知明, 森山 厚夫
17:00	～	17:20	レーザ・アークハイブリッド溶接技術の一般商船建造工程への導入に向けた研究ー(その2)溶接施工性に及ぼす諸因子の影響ー	後藤 浩二, ○竹下 竜平, 上村 崇杜, 森山 厚夫
17:20	～	17:40	レーザ・アークハイブリッド溶接技術の一般商船建造工程への導入に向けた研究ー(その3)実機レベルの溶接長を有する片側貫通T継手製作の検討ー	後藤 浩二, ○上村 崇杜, 村上 幸治, 前田 利光, 鳥越 功, 森山 厚夫
17:40	～	18:00	レーザ・アークハイブリッド溶接技術の一般商船建造工程への導入に向けた研究ー(その4)実機レベルの溶接長を有する突合せ継手製作の検討ー	後藤 浩二, ○上村 崇杜, 内野 一成, 村上 幸治, 森山 厚夫

【第3会場(Room 3)】

9:20	～	10:20	一般講演GS9・破壊 司会:小沢 匠(海技研) GS9・Fracture Chair: Takumi OZAWA	
9:20	～	9:40	亀裂材弾塑性変形における小規模降伏項の高精度分離式の高精度化に向けた取り組み	○二宮孝太, 沖田泰良, 川畑友弥
9:40	～	10:00	鉄鋼材料における繰返し予ひずみが脆化に及ぼす影響	○小菅寛輝, 川畑友弥, 沖田泰良, 村山英晶, 高木俊輔
10:00	～	10:20	応力多軸度が脆性破面粗さに与える影響の調査	○中村徳孝, 川畑友弥, 高嶋康人, 西菌祐希, 柳本史教
10:40	～	12:00	一般講演GS10・構造 司会:辰巳 晃(阪大) GS10・Structure Chair: Akira TATSUMI	
10:40	～	11:00	Computational and experimental analysis of a cracked panel under tensile and compressive loads	○Septia Hardy Sujiatanti, Satoyuki Tanaka, Shuhei Shinkawa, Daisuke Yanagihara
11:00	～	11:20	船体縦曲げ最終強度解析のためのIACS CSRに規定されたSmith法の改良	○新田進, 柳原大輔, 藤川博, 吉川孝男
11:20	～	11:40	弾塑性FEMを用いた板部材の寸法算式に関する研究	○梅澤陸人, 成瀬慶晃, 岡田哲男, 川村恭己, 石橋公也, 小山博之
11:40	～	12:00	弾性体を考慮した機構解析によるブロック吊り強度解析	○荒井太一, 宇野洋平, 黒田和宏, 中森隆一, 森陽彦
16:00	～	17:00	一般講演GS11・海底資源・海洋開発 司会:山崎哲生(阪府大) GS11・Seabed resources・Ocean development Chair: Tetsuo YAMAZAKI	
16:00	～	16:20	沖合海底下でのCCS実施における圧入井配置設計のための基礎検討	○本村 将平, 宇都宮 智昭, 西澤 春輝
16:20	～	16:40	沖合海底下でのCCS実施におけるサブシー機器設計のための基礎検討	○西澤 春輝, 宇都宮 智昭, 本村 将平
16:40	～	17:00	浮体構造物係留鎖における定量的摩耗量推定の実施と検証	○武内 崇晃, 宇都宮 智昭, 後藤 浩二, 佐藤 郁
17:00	～	18:00	一般講演GS12・海底資源・海洋開発 司会:宇都宮智昭(九大) GS12・Seabed resources・Ocean development Chair: Tomoaki UTSUNOMIYA	
17:00	～	17:20	External タレットに働くスラム力の基礎研究 - Deadrise angle による影響 -	○石原 祐希, 加藤 俊司, 湯川 和浩, 村井 基彦
17:20	～	17:40	機械式揚鉤と熔錬硫化塩素浸出法によるコバルトリッチラスト開発の経済性評価	○山崎哲生, 辺見直樹, 中谷直樹, 新井励
17:40	～	18:00	パルプリフトによるレアアース泥とマンガン団塊の複合開発の経済性評価	○山崎哲生, 林和幸, 中谷直樹, 新井励

【第4会場(Room 4)】

9:20	～	10:20	一般講演GS13・推進性能・省エネ 司会:玉田丈朗(流体テクノ) GS13・Propulsion performance・Energy saving Chair: Takeaki TAMADA	
9:20	～	9:40	後退角及び切り欠き部を有する高推力舵の省エネ効果に関する研究 (第二報) - 舵直圧力と舵トルクの計測 -	○金丸崇, 吉武朗, 安東潤

9:40	～	10:00	Improvement of Rudder-Bulb-Fin System	○Tho-Quang Truong, Shunya Ogawa, Yasuyuki Toda
10:00	～	10:20	実船状態における最適プロペラの研究 –第2報 層流翼型プロペラの最適直径, 最適効率へのレイノルズ数影響–	○山崎正三郎, 川村隆文, 溝尻貴明, 片岡史朗, 岡崎 全伯, 石原泰明
10:40	～	12:00	一般講演GS14・推進性能 司会: 金丸崇(九大) GS14・Propulsion performance Chair: Takashi KANEMARU	
10:40	～	11:00	航洋型プッシャー・バージの抵抗・自航性能に関する基礎研究	山本拓人, ○佐野将昭, 安 川宏紀
11:00	～	11:20	航海データ解析による船舶の推進性能評価	○奎尾憲治, 安東 潤, 足 達宏之, 玉島正裕
11:20	～	11:40	船尾形状が推進性能と保針性能に及ぼす影響について	○玉田丈朗, 野条丈洋, 安 東潤
11:40	～	12:00	機械学習を用いた船体画像による造波抵抗係数の推定	○高木洋平, 三上航平, 日 野孝則
16:00	～	17:20	一般講演GS15・推進性能 司会: 高木洋平(横国大) GS15・Propulsion performance Chair: Youhei TAKAGI	
16:00	～	16:20	Estimation of Effective Inflow Velocity into Propeller Utilizing Engine Model and the Kalman Filtering Technique	○Oleksiy Bondarenko, Yasushi Kitagawa
16:20	～	16:40	SPIV Measurement for a Self-propelled Ship in Regular Head Waves with Different Amplitudes	○Benson O. Mwangi, Haruki Nango, Yasuyuki Toda
16:40	～	17:00	CFDによる塗膜粗面の抵抗評価 (第二報)	○鈴木 健吾, 日野孝則, 高木洋平
17:00	～	17:20	ガウス過程回帰を用いた実船モニタリングデータの解析手法に関する研究	○羽生一成, 五百木陵行, 奥山悦郎
17:20	～	18:00	一般講演GS16・海運・物流 司会: 松倉洋史(海技研) GS16・Shipping・Logistics Chair: Hiroshi MATSUKURA	
17:20	～	17:40	自動避航システムの開発及び操船結果の定量的評価 –実船による自動避航システムの検証実験, 自動避航システムのレベル認証に向けて–	○中村紳也, 岡田尚樹
17:40	～	18:00	広域震災時の支援物資輸送における海上輸送の必要性	○松倉 洋史, 荒谷 太 郎, 間島 隆博

【第5会場(Room 5)】

9:20	～	10:20	一般講演GS17・疲労強度・破壊 司会: 大沢直樹(阪大) GS17・Fatigue strength・Fracture Chair: Naoki OSAWA	
9:20	～	9:40	Type-b ホットスポット応力の評価	○山本規雄, 杉本友宏, 石 橋公也, 田中智行
9:40	～	10:00	AISデータを用いた疲労強度評価用荷重の設定	山本規雄, ○杉本友宏, 石 橋公也
10:00	～	10:20	応力比が負の条件下におけるHFMI処理の疲労強度改善効果に関する検討	○津村秀一, 穴井陽祐, 安 藤孝弘, 岩田知明, 丹羽敏 男
10:40	～	12:00	一般講演GS18・疲労強度・破壊 司会: 川畑友弥(東大) GS18・Fatigue strength・Fracture Chair: Tomoya KAWABATA	
10:40	～	11:00	鉄二価感応性蛍光物質を用いた塗膜下腐食潜伏寿命計測法に関する基礎的研究	○大沢直樹, 高田篤志, 塩 谷和彦, 西澤政武, 竹本崇 志, Abdul Halim Azhan Bin

11:00	～	11:20	溶接ルート部に対する実用的な疲労強度評価手法の開発	○芦田晋作, 杉本友宏, 石橋公也, 山本規雄
11:20	～	11:40	Comparative Study on Two Statistical Wave Load Models and Their Application to Fatigue Assessment	○Luis C. De Gracia, Helong Wang, Wengang Mao, Naoki Osawa, Igor Rychlik, Gaute Storhaug, Hector Ruiz
11:40	～	12:00	亀裂結合力モデルを用いた亀裂先端近傍の繰返し塑性挙動を考慮した疲労亀裂成長挙動評価に向けた基礎検討	○山口 絢也, 後藤 浩二
16:00	～	18:00	オーガナイズドセッション OS3 養殖場への自動航行船の適用 オーガナイザー: 二瓶 泰範(阪府大) OS3 An automated vessel and its application to aquaculture Organizer: Yasunori NIHEI 四胴ロボット船によるカキ養殖場での水質自動計測 沿岸海域における高密度・高頻度自動観測の必要性 Experimental Investigation of Hull Resistance for Quadmaran Automated Vessel 無人四胴船の自動運動制御システム-実海域試験結果- 四胴ロボット船に対するMIQPを用いた最適航路生成 画像データセットにおける画像間類似度と認識精度の関係性評価	○二瓶泰範, 中田聡史, 原尚之, 原田浩太朗, 佐賀亮介 ○原田浩太朗, 大慶則之, 二瓶泰範 ○Sharath Srinivasamurthy, Hiroshi Sakamoto, Yasunori Nihei ○小溝誠, 向井航太, 原尚之, 二瓶泰範, 小西啓治 ○森田喜恵, 小溝誠, 向井航太, 原尚之, 小西啓治 ○梁志鵬, 佐賀 亮介

6月4日 (火) June 4 (Tue.)

時 間(Time)	表 題 (Tittle)	○講演者 (Presentor) 著 者 (Author)
-----------	--------------	----------------------------------

【第1会場(Room 1)】

9:00	～	10:40	オーガナイズドセッション OS1 海洋再生可能エネルギーに関する研究開発 オーガナイザー: 経塚 雄策(長大) OS1 R & D of Ocean Renewable Energies Organizer: Yusaku KYOZUKA OTEC発電プラント船の動揺特性と係留解析 Design and Modeling of a Hybrid Wind-Wave Energy Concept Turbulence model validation at a tidal energy site in Goto Islands 浮沈式潮流発電システムの実海域実験 (速報) 水中浮遊式海流発電システムの実海域実証試験について	○久松 稜弥, 宇都宮 智昭 ○Hongzhong Zhu, Changhong Hu, Makoto Sueyoshi ○Patxi Garcia Novo, Yusaku Kyozyuka ○経塚 雄策, 坂口 大作, 永瀧 拓己, 黒川 洗, 末吉 誠, 烏谷 隆, 野田 穰士朗, 胡 長洪 ○長屋 茂樹, 齊藤 宏幸, 上野 智裕, 百々 泰
------	---	-------	--	--

11:00	～	12:00	一般講演GS19・浮体応答・波 司会:牧敦生(阪大) GS19・Floating response・Wave Chair : Atsuo MAKI	
11:00	～	11:20	波浪中船体応答の簡易算式の開発 -第2報:縦運動に係る流体力-	○松井貞興, 篠本恭平, 杉本圭, 芦田晋作
11:20	～	11:40	栈橋に係留された3浮体間の干渉影響について	○藤田 直樹, 大石 剛央
11:40	～	12:00	縦軸風車を搭載したムーンプールを有する浮体の波浪中動揺に関する基礎的研究	○中村允, 居駒知樹, 惠藤浩朗, 相田康洋, 増田光一
13:00	～	16:00	オーガナイズドセッション OS2 一造船技術、文化の保存一 オーガナイザー:新開 明二(九大), 平山 次清(横国大), 内藤 林(阪大) OS2 -Preservation of technology and culture of ships- Organizer:Akiji SHINKAI, Tsugukiyo HIRAYAMA and Shigeru NAITOU PCC・第十とよた丸の史的考察 一我が国初の外航自動車専用運搬船 Pure Car Carrier・PCCついてー 長崎小菅修船場 海事遺産としての青函連絡船摩周丸の特徴について 伊勢大湊の造船資料について 一第3報 市川造船所における木造標準型貨物船の設計一 幕末佐賀藩の造船技術の遺構 弁才船奉納雛形の木割 遠賀川流域の河川水運を担った五平太舟についての一論考(続報) 幕末建造洋式帆船「ヘダ」一我が国初の滑り進水一 浮心について	○岡本 洋 ○高木祐介, 碓崎貞雄 ○庄司邦昭 ○伊藤政光 ○三好 章夫, 碓崎貞雄, 新開 明二 ○小嶋 良一 ○新開明二, 碓崎貞雄, 小松武邦, 山口悟 ○平山次清 ○一色 浩

【第2会場(Room 2)】

9:00	～	10:20	一般講演GS20・運動性能 司会:古川芳孝(九大) GS20・Maneuverability Chair : Yoshitaka FURUKAWA	
9:00	～	9:20	ストリップ法におけるnx影響項が前後揺れと波浪中プロペラ流入速度変動に与える影響	○北川 泰士, 塚田 吉昭, 柏木 正
9:20	～	9:40	浅水域における船の操縦運動シミュレーション	○鈴木孝典, 安川宏紀, 佐野将昭, 平田法隆, 松田秋彦
9:40	～	10:00	規則波中を旋回する船の6自由度船体運動計算	○鈴木良介, 上野道雄, 塚田吉昭
10:00	～	10:20	オフライン最適制御計算結果を先験的な解として用いる実時間最適制御手法に関する研究	○牧 敦生, 高橋 奏美, 下地 冬芽, 大塚 敏之, 正司 公一, 梅田 直哉
10:40	～	12:00	一般講演GS21・運動性能 司会:北川泰士(海技研) GS21・Maneuverability Chair : Yasushi KITAGAWA	
10:40	～	11:00	進化計算法CMA-ESを用いた低速操縦性モデルのパラメータ同定に関する基礎的研究	牧敦生, ○西川 博之, 梅田 直哉, 秋本 洋平
11:00	～	11:20	2軸2舵船の操縦性能に及ぼすプロペラ回転方向の影響	○奥田隆輔, 鈴木孝典, 安川宏紀, 佐野将昭, 平田法隆, 松田秋彦
11:20	～	11:40	大斜航・旋回状態における船体流体力モデル	○石川貴浩, 安川宏紀, 芳村康男, 松田秋彦
11:40	～	12:00	風力下で漂流する船舶の運動シミュレーション	○芳村 康男, 高瀬 康一, 鈴木 英之, 平林 紳一郎, 福井 寛史

13:00	～	14:20	一般講演GS22・運動性能 司会:宮崎英樹(海技研) GS22・Maneuverability Chair : Hideki MIYAZAKI	
13:00	～	13:20	船舶機関運用管理者のワークロード推定方法の研究 行動観察 (VACP 評価) と心拍変動データを用いた客観的評価の検討	○石田達朗, 三輪誠, 内田誠
13:20	～	13:40	斜向波条件における変調不安定波中のコンテナ船に発生する最大サギングモーメント	○宝谷英貴, 小森山祐輔, 松井貞興, 岡正義, 沢田博史, 田中義照, 谷澤克治, 早稲田卓爾
13:40	～	14:00	An Investigation on Broaching-to Prevention Using Global Optimal Control(CMA-ES)	○Sreenath Maniyappan, Naoya Umeda, Maki Atsuo, Youhei Akimoto
14:00	～	14:20	進化的強化学習手法IBP-CMAによる自動着棧制御	○大橋 響太郎, 牧 敦生, 梅田直哉, 秋本 洋平
14:40	～	16:20	一般講演GS23・運動性能 司会:宝谷英貴(東大) GS23・Maneuverability Chair : Hidetaka HOUTANI	
14:40	～	15:00	データ偏在の正規化による船舶の統計的実海域性能推定の高精度化	○花木孝明, 箕浦宗彦, 南條泰杜
15:00	～	15:20	船舶の新たな制動手法の一考察	○宮崎英樹, 塚田吉昭
15:20	～	15:40	姿勢安定装置付きスパーブイの波浪中運動特性	片山徹, ○山本裕介, 森本大嗣, 生島一樹, 橋本博公, 麻生裕司
15:40	～	16:00	Adversarial Inverse Reinforcement Learningによる着棧制御則の獲得に関する研究	○清水彰馬, 岡田凱, 白川真一, 牧敦生, 梅田直哉
16:00	～	16:20	Ship Maneuvering Prediction Based on CFD Method	Wenyang Duan, ○ Guanzhou Cao, Limin Huang, Shiliang Duan

【第3会場(Room 3)】

9:00	～	12:00	国際セッション：流体と構造物の相互作用 オーガナイザー：柏木 正(阪大) International Session : Fluid-Structure Interactions Organizer : Masashi KASHIWAGI Chair : Masashi KASHIWAGI	
			Evaluating finite-depth free-surface Green's function using an enhanced Endo's approach	○Yingyi Liu
			Numerical Simulation of 'Dead Water' Resistance on A Box Structure in a Two-layer Fluid	○Zhang Qianqian, Gou Ying , Teng Bin
			Motion and Resistance Increase of a Half Submerged Elliptic Cylinder Advancing in Head Waves	○Hiroshi Isshiki
			Numerical Study on Added Resistance and Pressure on Ships in Waves Using a Frequency-Domain Rankine Panel Method	○Beom-Soo Kim, Yonghwan Kim
			Development of Numerical Wave Tank Based on Green-Naghdi Wave Model and HOBEM	○Jie Zhang, Binbin Zhao, Wenyang Duan
			Nonlinearity in Effective Wave Slope Coefficient for a Low Freeboard Ship	Naoya Umeda, ○Masahiro Sakai, Atsuo Maki, Kohei Manabe, Akihiko Matsuda
			Experimental Analysis of Flows inside Type-C LNG Tank	○Jeoungkyu Lee, Yonghwan Kim, Yangjun Ahn, Si-ik Yi, Kyusik Park, Myung-hyun Noh

13:00	～	14:40	国際セッション：流体と構造物の相互作用 オーガナイザー：柏木 正(阪大) International Session：Fluid-Structure Interactions Organizer：Masashi KASHIWAGI Chair：Tomoaki UTSUNOMIYA Direct Prediction Method Considering Added Mass Effect for Vortex-induced Vibration Based on Modal Force Balance Automatic Gridding of Hull Surface Numerical Analysis of Static Characteristic for the WEC with an Air-filled Bag Hydrodynamic Study on Wave Energy Converter by STAR-CCM+ Critical Velocity Assessment to Design Risers Conveying Fluid for Ocean Thermal Energy Conversion (OTEC) Application	○Haojie Ren, Yuwang Xu, Mengmeng Zhang, Ziqi Lu, Shixiao Fu ○Jiandong Li, Wenyang Duan, Jikang Chen ○Chao Wang, Ying Gou, Bin Teng Zhengxiao Luan, ○Guanghua He, Zhigang Zhang, Penglin Jiang ○Ristiyanto Adiputra, Tomoaki Utsunomiya
-------	---	-------	---	--

【第4会場(Room 4)】

9:00	～	10:40	一般講演GS24・安全性・信頼性 司会:飯島一博(阪大) GS24・Safety・Reliability Chair：Kazuhiro IJIMA	
9:00	～	9:20	統計データに基づく事故進展シナリオの構築と重要度解析	○柚井智洋
9:20	～	9:40	球形フローティングホテルに関する模型試験結果	○牧 敦生, 金田 隆, 奥村義晴, 小野 靖広, 酒井政宏, 梅田 直哉
9:40	～	10:00	Development of General Purpose Free-running Model Ship with ROS	○Suisei Wada, Atsuo Maki, Naoya Umeda
10:00	～	10:20	4点曲げ荷重を受ける Box Girder の崩壊試験と数値シミュレーションに関する研究	○吉永 廉規, 藤 公博, 柳原 大輔, 吉川 孝男
10:20	～	10:40	CFD-FEA連成解析に基づくホイッピングを含む縦曲げモーメントの極値予測法の開発	○高見朋希, 飯島一博
11:00	～	12:00	一般講演GS25・艤装 司会:岡田哲男(横国大) GS25・Rigging Chair：Tetsuo OKADA	
11:00	～	11:20	個別要素法による係留用アンカーの把駐力評価	○松田 章紘, 藤 公博, 柳原大輔, 吉川 孝男
11:20	～	11:40	引張三角形法による溶接ビード理想形状の設計と応力集中の低減	○馮 中元, 麻 寧緒
11:40	～	12:00	小型内航船の船内騒音の調査 —乗組員職場環境の改善—	○松岡和彦, 光藤哲也
13:00	～	14:20	一般講演GS26・海洋調査・海洋開発 司会:山口 悟(九大) GS26・Marine research・Ocean development Chair：Satoru YAMAGUCHI	
13:00	～	13:20	潮流下稼働可能型海中ロボットの開発 (第1報)	野瀬幹夫, 木下 健, ○平山哲朗, 古野弘志, 京田大亮, 佐藤雅紀
13:20	～	13:40	CWレーダーによる海洋波浪情報計測に関する研究 —海岸付近における実験—	○古山諒, 河口信義, 井川晶裕, 久保田崇
13:40	～	14:00	GCOM-Cによる2018年の瀬戸内海の赤潮分布推定	○作野裕司, 内橋寛太, 比嘉紘士, 小林拓
14:00	～	14:20	X舵を持つAUV“ゆめいるか”の舵故障時運動シミュレーション	○中村昌彦, 百留忠洋

- 14:40 ~ 15:40 一般講演GS27・海洋環境・環境保全 | 司会: 作野裕司(広大)
GS27・Ocean environment・environmental conservation | Chair: Yuuji SAKUNO
- 14:40 ~ 15:00 海底からの溶存物質の複数点漏出に関する数値的推定 ○金尾俊介, 佐藤徹
- 15:00 ~ 15:20 数値計算を用いたCO₂ハイドレート生成に伴う孔隙内浸透率変化のモデル化 富士 達哉, 佐藤 徹,
○山口アラン純司, 鳥羽瀬孝臣, 池川洋二郎
- 15:20 ~ 15:40 鹿児島湾自然CO₂漏出の位置とフラックスの数値的推定 佐藤 徹, 竹岡 侑紀, ○
金尾 俊介, 下島 公紀,
前田 義明